

## 授業概要

私たちが人間の心を理解し、心の健康を促進していくためには、人間を取り巻く家庭・集団・社会などの「コミュニティ」を視野に入れてアプローチする必要がある。コミュニティ心理学には 1) 集団を対象に、2) 治療のみならず、疾患や問題行動の予防を重視し、3) 当事者だけでなく、その周囲の関係者への支援を重視する、という特徴がある。この講義ではコミュニティにおけるメンタルヘルスやウェルビーイングの増進、心理社会的問題の改善や解決に向けたアプローチについて紹介する。個人とコミュニティ双方の幸福が調和した状態を目指す立場から、コミュニティで生起する問題を理解し、解決や予防に向けた方策について講義する。

## 授業計画

第 1 回	コミュニティ心理学とは何か？
第 2 回	コミュニティ心理学の理念・歴史とアプローチ
第 3 回	予防・ストレスコーピング
第 4 回	誰を助けるのか
第 5 回	どんなとき助けるのか
第 6 回	援助・サポート研究：ボランティア活動の動機と成果
第 7 回	ソーシャルサポートとセルフヘルプ
第 8 回	エンパワーメント
第 9 回	コミュニティ感覚と市民参加
第 10 回	なぜ人はともだちを作るのか①
第 11 回	なぜ人はともだちを作るのか②
第 12 回	なぜ人は他者を助けるのか：行動ゲーム理論①
第 13 回	なぜ人は他者を助けるのか：行動ゲーム理論②
第 14 回	なぜ人は他者を助けるのか：行動ゲーム理論③
第 15 回	総括
第 16 回	定期試験

## 到達目標

- 人々の福祉のために心理学の知識と技能を活かすことができる。
- コミュニティ心理学における理論やアプローチを説明できる。
- 社会問題や身近なできごとに対してコミュニティ心理学の視点から考察できる。
- さまざまな属性を持つ人々が共生し、安心して生きられるコミュニティのあり方を構想できる。

## 履修上の注意

スライドを用いた講義を中心に進めるが、映像資料や新聞記事を用いて自ら考えるワークやグループディスカッションなどの体験学習的な要素も取り入れる。そのため受講者には受身的に講義を聴くだけでなく、主体的・能動的な態度をもって講義に臨んで欲しい。

## 予習・復習

【予習】講義内容に含まれるキーワードについて調べること。

【復習】講義で用いた資料を読み返すこと。

上記に加えて授業内で紹介する関連文献を用いて、各自が予習と発展的学習に努めること。

## 評価方法

最終試験 100%（規定の出席回数に満たない場合は単位認定を行わない）

## テキスト

特に指定しない。講義は配布資料に基づいて進める。また、参考図書は講義内でその都度紹介する。